

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
北海道芸術デザイン 専門学校	昭和51年4月1日	杉 澤 投 吉	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 美専学園	昭和62年12月4日	高 橋 英 雄	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
目 的	学科の目的 産業デザイン学科（イラストレーション専攻）の各分野に関するプロ養成に必要な、「基礎から実践」 までを教育することを目的とし、次の事項に重点的に取り組む。 ・各分野のプロになるための技術や知識を学ばせ就職させる。 ・いかに学生・保護者・就職先企業等のニーズに応えるか、各分野における諸課題を主体的・創造的に 研修し、実務的な職業教育を施す。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化教養分野 専門課程	産業デザイン学科 (イラストレーション専攻)	2年 (昼)	2400単位時間 (又は単位)	平成7年1月23日 文部省告示第7号	——
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	90単位時間 (又は単位)	2310単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数	171人	3人	30人	33人	
学期制度	■前期：4月1日～9月28日 ■後期：9月29日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 授業担当教員が課題の成果・提出状 況・出席状況等を総合的に評価する。		
長期休み	■学年始め：4月9日 ■夏 季：7月28日～8月17日 ■冬 季：12月17日～1月12日 ■前 期 末：9月10日～9月28日 ■学 年 末：3月4日～4月7日	卒業・進級条件	教育指導計画にしたがって、授業科目 を履修し、その成果が満足できると認 められるときは、各学年の修了・進級 または卒業を認定する。 卒業必要授業数 2400 単位時間。		
生徒指導	■クラス担任制 (有) (無) ■長期欠席者への指導等の対応 面談及び保護者との連携	課外活動	■課外活動の種類 北海道私立専修学校各種学校連合会札 幌支部体育事業の参加、地域清掃等 ■サークル活動 (有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 広告・印刷・出版・Web・ゲーム 他 ■就職率 92.2%	主な資格・検定	Illustrator クリエイター能力認定試験、 Photoshop クリエイター能力認定試験、色彩 士検定、ビジ初能力検定、		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 9名 ■中退率 5%</p> <p>平成25年4月1日在学者 173名 (平成24年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 164名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>健康及び経済的理由による進路変更</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>補習の実施と保護者への連絡・連携</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.bisen-g.ac.jp/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」を達成するために、指導内容や各種特別活動等を総合的に組織する一連のPDCAサイクルにおいて、教育課程編成委員会でその教育効果を検証し、企業等委員からの意見・助言を取り入れ、開設科目編成や授業内容の改善等を図っていくものとする。

- ・ 学生の就業先の業界動向に関する最新情報を収集し、現場の実務で求められる専門スキルに対応した授業科目の開設や授業課題の設定、ICT関連機材等の学習環境整備、教材開発等に活用する。
- ・ 企業等委員から経営者としての視点による助言を受け、即戦力となる人材育成のために、学生がインターンシップや職場体験、現場見学等を経験できる機会を創出する等、社会人としての基礎力および実務スキル向上につながる授業内容や指導方法の改善に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名前	所属
佐野 公康	株式会社デービス 代表取締役
西村 昌実	北海道イラストレーターズクラブα 会長
井上 俊彦	一般社団法人 札幌・北海道コンテンツ戦略機構 理事長
内藤 卓也	株式会社ジュリアジャパン 取締役社長
野村 光雄	株式会社デザインミック 代表取締役
薄木 健友	株式会社フルーロン花佳 代表取締役
鈴木 理	株式会社鈴木理アトリエ一級建築士事務所 代表取締役
中山 眞琴	株式会社ナカヤマ・アーキテクト 代表取締役
杉澤 投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
堀口 徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長
高橋 美絵	北海道芸術デザイン専門学校 教務部長
飯塚 哉子	北海道芸術デザイン専門学校 学務部長・建築デザイン学科長
山内 芳美	北海道芸術デザイン専門学校 産業デザイン学科長
田中 政史	北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科長
桂 充子	北海道芸術デザイン専門学校 環境デザイン学科長

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 16:00～17:30

第2回 平成27年1月21日 16:00～17:30(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」達成のため、各専攻関連分野の企業および業界団体と連携し、実践的な職業教育の実施に必要なカリキュラムの作成、講義および研修の実施、各種教材の作成等において、緊密な協力体制を構築・維持するものとする。

- ・ 職業教育協定書に基づき、各専攻関連分野の企業および業界団体から、各専門分野の指導講師として人材の派遣を受ける。
- ・ 担当教科目の指導計画について事前に協議し、各教科目のねらいに沿って授業内容や実施方法、評価の観点等についてまとめた指導計画書(シラバス)を作成し、指導講師と教務部で情報を共有する。
- ・ 学修成果の評価指標・手法についても予め協議し、演習終了後には指導講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
プレゼンテーション	就職活動において受かる履歴書の写真の撮られ方や表情・姿勢等を学び、面接時等相手に与える第一印象の向上を目指す。意欲的な就職活動を意識させるため企業訪問や面接等における業界別服装の例やメイクアップ・ヘアスタイリングの方法を、専門家の指導を受けて実際の活動に反映させる。	有限会社 アルテワークス スタジオ アットーレ札幌
表現技法演習	イラストレーション業界における媒体表現の基本的な制作方向やクライアントが求めるイラストレーションやターゲット・コンセプト設定など媒体に合わせたイラストレーションを学びながら、表現方法の意識を深める。感覚的なものを如何にイラストレーションで表現するか、媒体化した時のデザイン性も含めてトータルでものを見られるように表現する。	北海道イラストレーターズクラブα (クライアント企業：北海道文化放送株式会社)
基礎技術演習Ⅱ	デザイン・イラストレーションに関する実践的な授業として、デザインの基礎スキルを習得させ、技法と理論を学ぶ事で美しい平面構成の技術を身につけさせる。また、コンセプトメイキングおよびそれをふまえたイラストレーションの作り方を学ばせ、自己表現ではなく、クライアントのニーズに応えるための論理的展開を持ったイラストレーション作成及びプレゼンテーションスキルを向上させる。	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 北海道地域
基礎技術演習Ⅱ	デザイン業界・印刷業界における印刷原稿の基本的な制作方法やユーザーが求める年賀状のデザインとは何かを目的に学びながらクライアント意識を深め、印刷においては原稿を制作するにあたってのサイズや裁ち落としの理解と印刷原稿におけるアートボードの制作、トリムマークの意味等を理解させる。	株式会社成瀬商会
応用技術演習Ⅱ	広告デザイン業界での実務の流れに沿い、デザインスキルの向上を図るとともに、目的に合わせたデザインとイラストレーションについて考えさせ、イラストレーションとデザインの関連性、広告制作の流れ等を習得させる。	シマウマデザイン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校教職員研修規程に基づき、研修は、教職員が現在就いている職に係わる職務の遂行に必要な知識、技能、資質等の向上を図ることを目的とし、そのため教職員の資質に応じた研修計画を策定し、校内外で催される必要な研修を受ける機会を学園として認め、経費を負担することとする。

- ・ 教職員は、業務に支障のない限り、理事長の承認を受け校外の産業現場等、勤務場所を離れて研修を行うことができるものとする。
- ・ 各専攻関連分野の業界団体主催による各種技能研修や、ICT機器・アプリケーションソフト関連セミナー等の受講機会を確保し、最新の実務知識・技術・技能の計画的修得および向上に努める。
- ・ 授業および学生に対する指導力向上のため、各種職能団体が運営する指導員研修への参加や、所定の年

度に大学等で実施される教員免許更新講習等を受講する機会を確保する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名 前	所 属
河村 和義	株式会社アトリエK一級建築士事務所 代表取締役
櫻井 俊二	北海道芸術デザイン専門学校校友会会長
安田 昭夫	北海道芸術デザイン専門学校元学校長・北海道札幌白石高等学校元校長
山森 鉄夫	司法書士 山森鉄夫司法書士事務所 所長
杉澤 投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
西尾 正道	北海道医薬専門学校 学校長
館山 昭	北海道医薬専門学校 副学校長
堀口 徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bisen-g.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

- ホームページ <http://www.bisen-g.ac.jp/>
- SNS (Facebook) <https://www.facebook.com/bisengakuen>
- 北海道私立専修学校各種学校連合会の発行する「北海道専修学校概要」等の進学情報への掲載

授業科目等の概要

文化教養分野専門課程 産業デザイン学科（イラストレーション専攻）平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			一般教養	ビジネス能力検定の取得に向けて、職業意識の基本やキャリア設計、社会との関わり等について学習し、クリエイターとしての専門スキルを身に付けるためのモチベーションを高める。	1通	30	1	○	△	
○			英会話	交換留学生とも気軽にコミュニケーションがとれるように、また、作品制作や卒業後の仕事においても役に立つ身近で実用的な英語を身に付ける。	1前	30	1	○		
○			デザイン概論	デザインワークにおけるイラストレーションの役割を、実際に社会で使われている各種メディアから抽出・分析し、アイデアの出し方や画材の基本的な使い方、基本的なデザイン用語などについて学習する。	1前	30	1	○	△	
○			色彩学	色彩理論およびデザインワークの中で色彩が及ぼす影響や視覚的効果について、実習課題を交えながら学習し、混色・配色など着彩スキルのトレーニングも行う。色彩士検定3級受験に対応。	1前	30	1	△	○	
○			美術史	西洋美術、日本美術の流れと各時代の主要作品について学習するとともに、20世紀以降のイラストレーション史について、重要な作家や技法についての研究を行う。	1前	30	1		○	
○			デッサン	量感・質感・空間感・プロポーション等による自然で的確な表現を目指し、理論的裏付けを踏まえながら確かなデッサン力を養い、イラストレーターとして求められる基礎的能力を高める。	1前	30	1		○	
○			基礎技術演習Ⅰ	実習課題を通じて各種画材の特性およびその基本的な使用方法について学習し、イラストレーション制作における表現力の基礎を身に付ける。また、具象的表現にとどまらず抽象表現にも取り組ませ、思考を深めながら表現の幅を広げていく。	1前	240	8		○	
○			基礎技術演習Ⅱ	透明・不透明のアクリル絵具を組み合わせ、リアル表現と色作りを学習し、精密表現のテクニックを身に付けさせる。また、表情の描き分けやプロポーション、背景を含	1前	240	8		○	

			むシーンの描き方、パースなど、キャラクター制作の一連のノウハウについて、基礎的な知識から学ぶ。						
○		専門技術演習 I	Mac・Windows の両 OS を使い、具体的な媒体制作を通して Illustrator や Photoshop などのアプリケーションソフトの基本操作とデータ管理等の情報リテラシーを習得する。また遠近法、透視図法の基礎を理解し、空間を的確に表現する技法を学ぶ。	1 後	120	4			○
	○	専門技術演習 II	イラスト表現演習、ブックデザイン、Web デザイン、マンガ制作演習、油彩画演習、パッケージデザイン、キャラクターデザイン、リアルイラスト表現、絵本表現研究、デジタルイラスト、デジタルコミック、プリントワークから 2 科目を選び、各分野の実践的な課題制作を通じて基礎知識とスキルを学習する。	1 後	120	4			○
○		DTP 演習	レイアウトの感覚を養うトレーニング課題を通じて、デジタル処理を踏まえたデザインの基礎技法と理論を学び、論理的思考による美しく効果的な平面構成ができるスキルを身に付ける。	1 前	30	1			○
○		前期課題制作	夏期休業中に、各種コンペへの応募を想定した課題作品制作を行うとともに、イラストレーションがビジュアルとして用いられているメディアのサンプルを収集し、表現方法についての研究を深める。	1 前	30	1			○
○		後期課題制作	冬期休業中に、進級制作の課題制作に向けて資料収集およびコンセプトメイク、ラフスケッチ制作などを行う。	1 後	30	1			○
○		コンペ課題制作	下地や技法についての研究を深め、よりクオリティーの高い作品作りを目指すと同時に、構図・空間表現・モチーフ等の構成要素について担当講師と打合せを重ね、学生個々のオリジナルな表現を迫る。	1 後	30	1			○
○		進級制作	オリジナルイラスト、広告デザイン、選択課題(デッサン、マンガ制作、絵本制作、リアルイラストから 1 科目選ぶ)の計 3 課題について、定められた期日までに各自が集中して制作を行い、その成果を問う。	1 後	180	6			○
○		各種概論	卒業制作および就職活動用ポートフォリオ制作に向けて、先達作品から技法やテーマ設定等を学び、新しい表現に挑戦しながら各自の作家性を伸ばす。	2 前	30	1			○
○		色彩応用	商業イラストレーションに留まらず、アート性の高いイラストレーション表現に必要な画材・技法の研究を深め、卒業制作に向けて表現の幅を広げる。	2 前	30	1			○

○		各種技術論	パッケージデザイン、エディトリアルイラスト演習、Web デザインⅡ、日本画演習、創作絵本演習、漫画制作演習Ⅱ、デジタルイラスト演習から1科目を選び、各分野の実践的な課題制作を通じて表現の幅を広げ、スキルの向上を目指す。	2 前	60	2		○	
○		表現技法演習	ブックデザイン、デザイン表現研究、ステーションリープランニング、リアルイラスト演習、シルクスクリーン演習、版画制作演習、デジタルコミック演習、3DCG 演習から1科目を選び、各分野の実践的な課題制作を通じて表現の幅を広げ、スキルの向上を目指す。	2 前	60	2		○	
○		材料学	学外ギャラリーでのグループ展実施に向けて、出品作品のベースとなるパネルや下地をオリジナルで制作するための各種材料や工具の取り扱いについて学習し、新しい表現の可能性を広げる。	2 前	30	1		○	
○		プレゼンテーション	チームを組んで編集企画や展示企画を立てプレゼンテーションを行い、役割分担して作品を制作し企画を実現させるノウハウを学ぶ。クリエイティブ業界で仕事をする上で重要なチームワークやインターネットを活用した情報収集力、コミュニケーション力を養う。	2 前	120	4		○	
○		デザイン演習	ページレイアウトソフト InDesign の基本操作を学び、業種や職種に応じ企業にプレゼンテーションできるポートフォリオを制作する。ロゴデザインやポスター制作など、就職に備えてデジタルスキルの幅を広げる課題にも取り組む。	2 前	120	4		○	
○		応用技術演習Ⅰ	クライアントである企業や自治体のニーズに合わせて、広く受け入れられやすいキャラクター制作を追求し、ペンタブレットやアプリケーションソフト SAI 等を用いたデジタル制作により商品展開や広告展開を図る。	2 前	120	4		○	
○		応用技術演習Ⅱ	デザイン業界の実務の流れに沿った課題制作を通じて、デジタル制作環境下でのワークフローを習得するとともに、イラストレーションとデザインの関係性について考察し、ビジュアル表現の幅を広げることをねらう。	2 前	120	4		○	
○		前期課題制作	夏期休業中に、各自の卒業制作企画案に基づいて、必要な資料収集・取材、ラフスケッチ制作・エスキース制作などを行うとともに、素材や技法について研究を深める。	2 前	30	1		○	

○		コンペ課題制作	1年次で学習したことをベースに、オリジナルの大型作品制作に取り組み、テーマ・コンセプトの立案から、スケジュール管理および実制作まで、一連のワークフローについて学習する。	2 前	30	1		○	
○		卒業制作	イラストレーション専攻として学んだ集大成を卒業制作とする。業界のニーズに応えるテーマ、コンセプトを設定し、画材・素材・描法・作品サイズ・点数を考え定められた期日までに集中的に制作を行う。学内審査及び外部審査員による賞選考会を実施して、その成果を問う。	2 後	450	15		○	
合計				27 科目	2400 単位時間 (80 単位)		